

## 「なごや歴まちびとの会」 有松・棚橋邸見学会レポート



塗籠造り・格子窓の特徴ある棚橋邸



現地で設計者・三井さんの説明を受ける皆さん



三井さんの修復工事の説明を受ける皆さん



棚橋様の奥様の維持管理苦勞話を伺いました



中庭・ほっとする空間です（作者不明）

平成 24 年 6 月 3 日（日）「なごや歴まちびとの会」の主催で、名古屋市緑区有松にて棚橋邸第 1 期修復工事の見学会を開催しました。

当日は、有松絞りまつりで盛況の中、「なごや歴まちびと」をはじめ、名古屋市歴史まちづくり推進室、名古屋まちづくり公社の方々にもご参加いただき、総勢 20 名となりおおいに盛り上がりました。

この棚橋家住宅主屋は平成 21 年に登録有形文化財になっており、旧東海道に面した有松の伝統的町並みを構成する中々立派な建物です。

塗籠造りと格子窓の特徴ある棚橋邸は、元々絞り問屋を営んでいた服部家の建物でした。昭和初期に先代の棚橋龍三様がここで医院開業に併せて再活用され、現在に至っています。なお、現在の棚橋医院は、ここから北のイオン有松の隣地で開業されています。

今回の棚橋邸修復工事の設計監理は、なごや歴まちびと一期生のモモアーキテクツの三井富雄様。施工は同じく一期生の魚津社寺工務店の魚津忠弘様、現場担当は同社の里中亮一さんです。

実際に現地建物を見学することにより、修復工事の大変さ、難しさを再度認識させられました。それと工事が進むにつれて思わぬ発見と劣化箇所の遭遇について三井様、魚津様よりお話を頂きました。

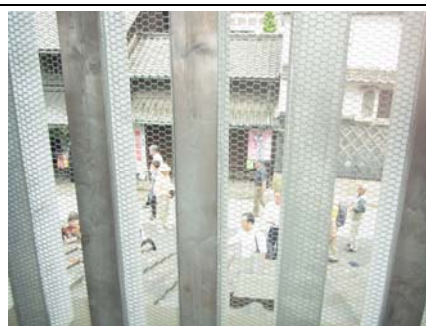
建物見学の後、設計者の三井様より工事概要の説明を受け、当初からの調査・調整・修復設計、更に活用と第一期、第二期にわたる長い設計・工事での苦勞話をいただき、私たち歴まちびとの役割の重要さも実感しました。それと棚橋様の奥様もご同席いただき、当初からのこの建物の維持管理の困難さ、苦勞話もご披露いただきました。

今回の見学会における感想としては、今後のなごや歴まちびとの歴史的建物の保全活用の役割の重要さと文化的遺産を継承していくお手伝いとしての役割の大切さを改めて認識させられました。

最後に、設計監理者の三井様、施工者の魚津様、棚橋様の奥様、急遽駆け付けて頂きました服部家の現在のご当主夫妻、以上の皆様に対して、素晴らしい見学会が開催出来ました事を感謝申し上げます。

約 2 時間弱の時間ではありましたが有意義な見学会が出来ました。皆様お疲れ様でした。

なごや歴まちびと一期生 稲田進一



格子窓より旧東海道沿の対面建物をみる



街道筋西側をみる（左側棚橋邸）